

県央・林業部トピックス（4月号）

大田市でしか見られない！？「ヨロイマツ」の見学ツアーが開催されました！

令和8年4月9日および4月22日に、ヨロイマツの見学ツアーが開催されました。樹皮の一部に鎧（よろい）の一番下の草摺（くさずり）のような鱗片が現れる外観がヨロイマツという名前の由来となっており、製材時の木目も大変美しいものです。全国でも大田市内のみに自生している貴重なマツであり、大田市林友会が遺伝子保存のため様々な活動に取り組んでいます。

今回のツアーには、2日間で延べ29名が参加し、①自生しているヨロイマツ、②接ぎ木苗が成長したヨロイマツ、③接ぎ木を行っている畑を見学しました。

大田市林友会の和田会長は、「我々が接ぎ木をしたヨロイマツから鎧が現れる様子を生きている間に見ることはできないかもしれません。しかし、今こうして遺伝子保存に取り組むことで、将来にわたり貴重な資源を残すことができます。道のりは長いですが、必ず成果が出ると信じています。」と話されていました。

現在、大田市役所のロビーでもヨロイマツの展示が行われています。ご興味のある方はぜひ足を運んでみてください！



自生しているヨロイマツの見学（赤枠で囲んでいる箇所が鎧）



接ぎ木を行っている畑の見学